

# コロナ禍の支部だより特集【第1報】

## 京都支部

支部長 北口夢石

新日美の皆様御元氣にお過ごしのこととおよろこび申し上げます。京都支部長の北口夢石です。

会報係の石原修様より御依頼を頂きましたので書き始めましたが、満九七歳三ヶ月と成り何をするにも億劫で、特に新型コロナウイルスや毎日の炎暑で冷房を利かせた室内にこもって居ります。

京都支部の新年会を事務局長の飯村様宅「山ぼうし」で、二月九日に開催し楽しい一時を過ごしました。



工房風景

其の後はコロナ自粛で行事は無くなり、新日美だけでなく他の展覧会や行事も全く無く成り淋しい限りですが、へ新日美ネット会員展への開催通知を頂き参加に意欲を燃やして居ります。

私は自宅アトリエで陶芸教室を開いて居ますので、毎日来る方や月に何回か来る方と午前中作陶して居ります。永く来て居る方は思いもよらぬ素晴らしい作品を造って呉れるので楽しみです。会報には相応しく無い取留めも無い事を記しましたが宜しくお願い致します。

## 多摩支部

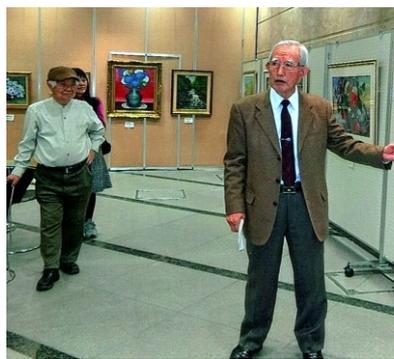
支部長 宮嶋ふみ子

### 多摩支部展 延期の末中止に

昨年の一二月一日、次回の支部展の抽選会場に向き今年度四月第三週を引き当て申し込みました。この旨会員に達しDMの作成、その他の準備にとりかかりました。

二月、夫の他界と並行し、コロナが発生し猛威を振るい、余儀なく中止せざるを得ませんでした。再度、二月一日に九月一週の申し込みをしました。DMの修正の作業が有り、又支部展が出る喜びに作品の仕上げにと気合を入れたいた矢先、ある方からのメールに「何で」と我を疑い

ました。お教室を持つ先生からでした。「もし自分に万が一の事が有れば、教室を楽しみにしている生徒さんに申し訳が付かない」という内容でした。以降、二人三人と同様の断りの知らせが有り、会の古参の方々とは相談して中止を決めました。



昨年の支部展 芳賀文治先生の講評

中止の報告に私文「年一度、この日の為にと力を込めた作品に是非“陽の目”を当ててやりたい、来春は必ずと。その日の為に大切に保管してほしい」旨を記して皆様に送りました。と、言う訳で一転二転の末、実行出来ずの支部展でしたが、このやむをえない事情は分かって頂けた事と思えます。

一刻も早い終息を願うと同時に、会員の皆様の健康を祈ります。

## 埼玉西支部

支部員 小高峯夫

### コロナの災いから

元号が令和に変わり明るい雰囲気があつたが今年に入つてコロナウイルスによつてあつという間に状況が一変した。

埼玉西支部では四月に支部展会場を確保し実行担当者が決まり、はがきの印刷が済み、一部発送まで進んでいたがコロナの勢いがひましに強く会場閉鎖となりついに中止となった。



支部合評会 2020.8.2

月例勉強会も四月から会場が閉鎖された為一切の活動がストップ状態となつた。悪いことは重なるものでかつて西支部の元氣印だった菅野氏と千木良氏のあいつぐ訃報がもたらされた。